

管理優先度の高い森林の抽出と管理技術の開発

1. 研究目的

放置すれば災害発生の危険がある民有人工林を航空機レーザ計測データを用いて抽出し、その施業方針を示すことにより、森林経営管理制度の下で市町村によるそれらの森林の管理優先度と管理方法の判断を支援する。

2. 研究背景

全国森林面積の1/6を占める管理不足の民有人工林では山地災害激甚化の恐れがあり、森林管理による災害防止・軽減が必要とされている。

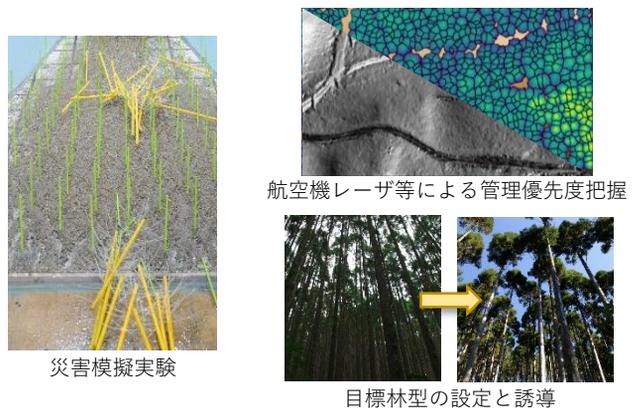
しかし、所有者に代わり管理する市町村にとって、その所在の把握と管理の選択は困難であることから、航空機レーザ計測データ等を活用した森林の管理優先度と管理方法を示す技術が求められている。



管理不足森林の抽出と管理による災害軽減

3. 研究内容

- ① 森林の地形・土層・林況等のリスク素因分析及び災害模擬実験等によるリスク評価技術を開発
- ② 航空機レーザ計測や空間情報を用い、森林の災害リスクと管理程度の図化技術を開発
- ③ 高管理優先度森林の管理方法を示すための目標林型の設定誘導技術を開発



高管理優先度森林の抽出と管理方法提示

4. 達成目標・期待される効果

達成目標

- 管理優先度評価ツールの開発
- 施業技術マニュアルの作成



期待される効果

- 市町村が管理不足森林を解消
- 公的資金による民有林管理に科学的根拠を提示
- 航空機レーザ計測の高次利用と民間サービスの高度化